

野村幻雪(四郎改) 追悼公演

— 伝統の継承と創造的革新のために —

幻雪師は常々、過去・現在・未来があることが伝統であり、
伝統が力あるためには常に過去の伝統を見直し、
爪を立てる精神が必要だという考えをお持ちでした。
そして数々の新作能、新演出、他ジャンルとの
創造的な仕事を重ねられました。

この度の追悼公演は、そのような野村幻雪師との
これまでの仕事を回顧し、我々の心に刻み、
次世代に渡していくためのものです。

「三酔人夢中酔吟」より李白



2022年

8月18日(木)

18時開演

国立能楽堂

主催 アトリエ花習

『祇園精舎』

琵琶 岩佐 鶴丈

日本の芸能の源泉である鎮魂の叙事詩「平家物語」の主題を凝縮した世界。伝空海作「いろは歌」にも響きあう。

石牟礼道子詩

『花を奉る』

笠井 賢一
尺八 設楽 瞬山

アトリエ花習の国立能楽堂「言葉の力」では幻雪は石牟礼道子詩「彼岸花」を節付し謡った。「花を奉る」は3月11日の大震災の翌月に完成し、石牟礼文学の全てが凝縮されている。

地歌舞

『善知鳥』

作舞 山村楽千代
謡・監修 野村 幻雪
歌三絃・補曲 佐藤文岳晶
能管・尺八 設楽 瞬山

能の由来の地歌舞で上演されることが稀であった作品を、幻雪監修によって創り上げた作品さらにそれを練り上げて上演する。殺生の業を生業とせざる得ない人の苦悩。

山百合忌 語りと舞

『いのちのみなもとへ』

命の危機の時代に

鶴見和子 金子 あい
石牟礼道子 坪井 美香
舞 なかええみ
謡 野村 幻雪
能管・尺八 設楽 瞬山
シンセサイザー・三絃 佐藤 岳晶

幻雪は十年来鶴見和子追悼の山百合忌に出演し、鶴見和子の和歌に節付し舞を創ってきた。
生涯最後の舞台も山百合忌『花の山姥』であった。

休憩15分

琵琶秘曲

『啄木』『楊真操』の復曲演奏

楽琵琶 岩佐 鶴丈

八三七年(白樂天存命)、遣唐使の藤原貞敏が唐の廉承武から伝授された秘曲で楽琵琶(雅楽演奏の琴)の秘曲。数多の芸能の奇瑞譚を生んだが、秘伝のあまり演奏が途絶えていた。

新作能舞

『三酔人夢中酔吟』より謡と舞

櫻間金記 謡 野村 幻雪

李白と杜甫と白樂天の三大詩人が、時空を超え能舞台という「夢の離屋」で一同に会し、詩を吟じ、酔舞するという新作能舞。幻雪のからみが発揮された。本日はその一部を杜甫役の櫻間金記の謡と舞と幻雪の謡の音声とで再現する。

映像と声(スクリーンに映写)

野村幻雪(四郎政)の風姿

新作能舞——装束付

『空と海と光——空海の能』

空海「高野山万燈万花会願文」によるクセ部分上演

空海 観世鍊之丞
笛 松田 弘之
小鼓 大倉源次郎
大鼓 大倉慶之助
太鼓 小寺真佐人
地謡 梅若 実
山崎正道
長山桂三
川口晃平
節付 梅若 実
構成・演出 笠井 賢一

幻雪最晩年の望みであった、新作能『空と海と光——空海の能』に梅若実が節付・地頭・幻雪はこの新作能の地頭に梅若実を希望していたのを勤め、観世鍊之丞が空海役で舞う。

2023年の空海の生誕1250年に向けて完成をめざす。

2008年に国立能楽堂にて『言葉の力——詩・歌・舞 石牟礼道子・多田富雄深き魂の交歓』(構成・演出 笠井 賢一)で出発した「アトリエ花習」は、古典芸能と現代演劇を繋ぐ演劇活動を能狂言役者から現代劇の俳優、演奏家たちと続けてきました。野村幻雪師にはこの第一回公演から出演頂き、新作能やオペラの共同演出もお願いし、アトリエ花習の顧問にも就任して頂きました。能の心と空海の精神が重なり合うと常々言っておられ、幻雪師の長年の望みであった空海の能を上演するという思いを実現すべく、国立能楽堂を3月3日に予約していたのですが、残念ながら急逝されました。その思いを継いで上記のような番組による追悼公演とすること致しました。

2022年8月18日(木)
18時開演(開場40分前)

皆様に『野村幻雪追悼文集』、『野村幻雪写真集(約170頁)』を差し上げます。

●入場料

A席 8,000円
B席 7,000円
C席 6,000円

●国立能楽堂

東京都渋谷区千駄ヶ谷4-13-1
TEL 03342511331
◎交通 JR千駄ヶ谷より5分
大江戸線 国立競技場(A4)より5分
副都心線 北参道出口より7分

●お問合せ・お申込
アトリエ花習

TEL 090-9676-36798
メール mail@atelierkashu.com
総合演出／笠井 賢一 衣装／細田ひな子 舞台監督／松行俊二
表紙写真／鈴木 薫 制作／アトリエ花習

